

電子くじの仕様について

【電子くじの仕様】

電子入札システムで、落札者となるべき同価の応札者が2者以上いる場合、電子くじにより落札候補者を決定します。この方法は次のとおりです。

- (1) 応札者は、入札書提出時に任意の3ケタのくじ番号を入札書に入力します。(→「くじ入力番号」)
- (2) 入札書受信時に「乱数」(ランダムに発行される整数0～999)が自動決定されます。
上の「くじ入力番号」と「乱数」の和を、電子くじの計算に使用する実際の「くじ番号」とします。
ただし、この和が4ケタになるときは、下3ケタが「くじ番号」となります。
- (3) この「乱数」と「くじ番号」は、入札書提出後に自動発行する入札書受付票に、「くじ入力番号」とともに表示されます。
- (4) 開札時にくじ対象者を抽出し、入札書受信日時に基づき並び替え、入札順位を決定します。
- (5) 次の計算式で得られた余りの数字を当選番号とします。
$$\text{くじ対象者のくじ番号の和} \div \text{くじ対象者数}$$
- (6) 入札順位と当選番号が一致した応札者が落札候補者となります。

【電子くじの判定例】

(1) 次のような入札があった場合、A、C、Eの3社がくじの対象となります。

	応札者が 入力	入札書提出時に自動的に決定する。 くじ入力番号、乱数、くじ番号は 入札書受付票に表示する。			くじ対象は 3社	
応札者	くじ入力 番号	乱数 (入札書受信時にランダムに 発行される整数 0～999)	くじ番号 (くじ入力番号+乱数)		入札金額	くじ対象
A社	125	244	125 + 244 = 369		1,000,000	○
B社	336	408	336 + 408 = 744		1,200,000	
C社	007	599	007 + 599 = 606		1,000,000	○
D社	288	034	288 + 034 = 322		1,100,000	
E社	100	052	100 + 052 = 152		1,000,000	○

(2) くじ対象の応札者A社、C社、E社について、入札書受信日時の早い順に並び替えます。

応札者	入札書受信日時	入札順位
A社	H22.7.1 8時45分12秒	0
C社	H22.7.1 16時55分08秒	1
E社	H22.7.3 16時31分31秒	2

(3) くじ番号の和を対象者3で割ると、当選番号(余り)=2 となり、入札順位=2であるE社が落札候補者となります。

応札者	くじ番号	入札順位	当選番号の計算
A社	369	0	$(369+606+152=1,127) \div 3$ = 375 余り 2
C社	606	1	
E社(落札)	152	2	

平成 24 年 08 月 01 日

業者名	株式会社〇〇〇〇〇〇	埼玉県 〇〇〇部
氏名	〇〇〇〇〇〇 様	〇〇〇〇〇課長

入札書受付票

下記のとおり入札書を受領いたしました。

記

受領番号	12345678901234567890
調達案件番号	12345678901234567890
調達案件名称	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事
入札執行回数	1 回目
くじ入力番号	777 ← ①自分で決めた数字
乱数	051 ← ②入札書の受付時に確定した数
くじ番号	828 ← ①と②の合計(→ くじの計算に利用)
受付日時	平成 24 年 08 月 01 日 15 時 05 分 ← くじ結果の照合に利用

・ この票は、入札書を提出すると発行されます。